



岡山市区づくり推進事業助成申込書

(地域活動部門)

令和4年1月6日

岡山市長 大 森 雅 夫 様

団体名 千種まちづくり協議会

住 所

代表者職・氏名

提出した申込書の内容が、岡山市のホームページ上で公開されることに同意します。
ただし、個人情報に関する部分は除きます。

応募分野	ア 地域課題解決 イ 地域課題掘り起し ウ 地域計画づくり ④ 地域課題解決型の地域組織づくり オ その他
事業名称	万の富を探す会
事業実施小学校区	千種小学校区
事業の開始年月	新規 ・ 継続 ・ 回目 【事業開始年度4年度】
課題	1 地域にとって大切な歴史遺産の知識や資料を継承する人材がいない。 2 現在、全国的に注目を浴びている、万富東大寺瓦窯跡の発掘調査に対する地元住民の関心が薄い。 3 地域の歴史遺産を活用すれば、観光の面で地域活性化を図ることが可能となるが、現在史跡について説明ができる組織がない。
事業の目的	千種学区内には、全国的に有名な東大寺瓦窯跡や宗堂の桜など歴史遺産が数多く存在する。 地元住民や次世代の子供たちの関心を高めることは、一層の情報発信を可能にする。また、同時に地域の宝である歴史遺産を後世に継承できるような人材育成と組織づくりをすることで、地域の活性化につなげたい。
事業の内容・感染防	1 地域内でボランティアガイドを養成する。 (1) 現存する資料の整理や地域住民が保持している知識を編纂する。 (2) 史跡を訪れた地域内外の方に、案内ができるボランティアガイド組織の基礎を作り観光案内をする体制を構築するため、ガイド養成講座を開講する。 この養成講座は、将来を見据えた事業とするため、小学生からを対象とし千種学区管内での現地研修には小学生、中学生の参加も見込んで計画する。 2 パンフレットの作成及び講習用 DVD の検討 (1) 小学生が学習活動に活用できるパンフレットを作る。 (2) パンフレットの活用で、小学校と共に活動を進めて、郷土愛を醸成する。

止 対 策	(3) 学区内の史跡を紹介する講習用 DVD を編集するため、内容の検討や資料の収集を行う。 3 万富東大寺瓦窯跡の発掘調査の講習会を開催する。 地域住民の関心度を高めるため、単位町内会や各種団体の会合を利用して勉強会を開催していく。 4 案内看板の設置 万富駅から史跡までの案内看板を設置し、歩きながら学習ができるウォーキングロードを整備する。 5 ホームページで情報発信する。 千種学区電子町内会のホームページを活用し、リアルタイムの情報発信ができる体制を整える。 ※感染防止対策 1 参加者には、体温測定と名前・連絡先の記入を義務付ける。 2 参加者は、必ずマスクと消毒を義務付ける。
期 待 さ れ る 成 果 ・ 目 標	1 知識の継承 観光ガイド養成講座を通じて、千種学区内にある多くの歴史的遺産の知識などを継承する体制を作り、後世に引き継ぐ人材の発掘を推進していくことができる。 2 万富東大寺瓦窯跡の情報発信 現在まで岡山市が行った万富東大寺瓦窯跡の発掘調査は、旧瀬戸町時代にすでに発掘が終わっている場所であり、今後行う発掘は今まで発掘が行われていない場所となっており、歴史的にも重要な史跡が出てくる可能性を秘めている。 岡山市が行う発掘調査を地元住民に知らせる体制をつくることにより、新しい発見が出てくるたびに、情報発信し、発掘調査を後押ししていくことで、住民の関心を高めることができる。 また、東大寺瓦が使われた奈良東大寺まで研修に行き、万富東大寺瓦窯の検証をすることで史跡の歴史的価値の高さを感じ、地域に誇りを持つことができる。 3 ガイドブックの編集 小学生が理解できるようなガイドブックを作成することにより、こどもたちが研修できるような体制を整えることができる。 4 案内看板の設置 案内看板を設置することで、電車で訪れた観光客がウォーキングロードにより史跡まで道案内をすることができる。
企 画 な ど の 工	1 歴史の継承 千種学区内にある多くの歴史資産に関する資料や知識は、一部の高齢の人が中心になって保存しており、これらの知識や資料の継承は急務となっている。 観光ボランティアガイドを養成することにより、歴史資料や知識を後世に引き継ぐことができる人材育成を図っていくことができる。 2 万富東大寺瓦窯跡の発掘調査の情報発信 次回、岡山市が発掘調査を行う場所は、歴史的な大発見が期待できる地域であ

夫	り、地元としても大きな期待を持っている。 発掘の進み具合や、発見した史跡などをインターネットなどでリアルタイムに情報発信をすることで、地域住民が遺跡を身近に感じる体制を作る。 3 観光ボランティアガイド養成 将来は万富東大寺瓦窯跡の公園化も行われることになっており、それまでに観光ボランティアガイドを養成し、学区内の単位町内会などにボランティアガイドを派遣し、郷土を愛する人材の発掘に努めていく。
協働する団体等	1 千種学区連合町内会 2 岡山市立万富公民館 3 岡山市立千種小学校 4 キリンビール(株)岡山工場 5 一般社団法人「マチノワ」 6 万の富を探す会
事業の情報公開	万の富を探す会の活動を千種学区連合町内会のホームページで公開し、情報発信をしていきます。 ボランティアガイドを養成することにより、単位町内会で行っているふれあいサロン等で歴史の話しをして、万富東大寺瓦窯跡などの広報を行っていく。 また、地元にあるキリンビール岡山工場に来る工場見学者に対しても、キリンビールと連携しながら、万富東大寺瓦窯跡などのガイドを実施していく。 さらに、小学生を対象にした歴史教育も千種小学校と連携し、現地での研修を含めて実施していく。
地区への広がり	岡山市東区を含む東部地域には、西大寺裸祭りや、長船刀剣博物館、閑谷学校、備前焼など多くの観光施設がある。 これらの地域と連携して、岡山県の東部地域の一員として世界に向かって情報発信をしていく。
次年度以降の予定	1 年度ごとの事業計画 令和4年度 ボランティアガイドの養成と情報発信 パンフレットの作成 奈良東大寺での研修 案内看板の設置 講習用 DVD の作成のため情報収集及び検討 令和5年度 単位町内会のふれあいサロンなどで歴史の話しの開催 講習用 DVD 作成 小学生に「わたしたちのまち千種」の授業の実施 案内看板の設置 令和6年度 単位町内会のふれあいサロンなどで歴史の話しの開催

	小学生に「わたしたちのまち千種」の授業の実施 キリンビールなどと連携し工場見学者にガイドを行う。 岡山県東備地域との連携 令和7年度 同じ事業を継続して実施 令和8年度 同じ事業を継続して実施 2 資金の確保 千種学区連合町内会が学区内の全世帯から集金している区づくり推進事業負担金の会費を活用して事業を実施する。 3 次年度以降も区づくり推進事業の申請を行い、岡山市が行う万富東大寺瓦窯跡の発掘調査が終わり、公園の整備が完了するまで申請を行う。 万富東大寺瓦窯の公園化が終了した時には、千種学区連合町内会の区づくり推進事業負担金及び活動支援補助金の会費を活用して事業を実施していく。
その他 P R した い 点	今後行われる発掘調査は、未発掘の場所であり、今までにない大発見が期待されている。 鎌倉時代の国家の一大事業であった奈良東大寺の修復事業に貢献したとされる万富東大寺瓦窯跡は、いま大きな期待とともに岡山市によって発掘が行われようとしており、地元の千種学区としても岡山市の発掘調査に注目し、住民と共にその成果を共有します。 そして、発掘調査で発見されたさまざまな情報をリアルタイムで地元住民はもちろん、全世界に発信していく体制を整えます。

月日	活 動 内 容
4月17日	観光ボランティアアガイド養成講座開講式
5月15日	観光ボランティアアガイド養成講座
6月19日	観光ボランティアアガイド養成講座 第1回観光パンフレット検討会議
7月17日	観光ボランティアアガイド養成講座（現地研修） 観光パンフレットの検討会議
8月21日	観光ボランティアアガイド養成講座 観光パンフレット検討会議
9月18日	観光ボランティアアガイド養成講座 観光パンフレット検討会議
10月16日	観光ボランティアアガイド養成講座 観光パンフレット検討会議 案内看板検討会議
11月20日	観光ボランティアアガイド養成講座（現地研修） 観光パンフレット検討会議 案内看板検討会議
12月18日	観光ボランティアアガイド養成講座 観光パンフレット印刷開始 DVD 検討会議 案内看板検討会議
1月15日	観光ボランティアアガイド養成講座 観光パンフレット完成 DVD 検討会議 案内看板検討会議
2月19日 2月5日	観光ボランティアアガイド養成講座 奈良東大寺視察研修 DVD 検討会議 歴史講座開始 看板設置
3月19日	観光ボランティアアガイド養成講座修了式 DVD 検討会議 歴史講座 看板設置完了

収支予算書

収 入

単位:円

項 目	前年度決算又は決算見込額	予 算 額	内 容
岡山市補助金		902,900	岡山市補助金
実施団体負担金		220,800	千種学区連合町内会
参加者負担金			
協賛金			
寄附金、他収入			
収入合計	0	1,123,700	

支 出

単位:円

項 目	前年度決算又は決算見込額	予 算 額	内容(必ず記載してください)
①消耗品費		300,000	ユニフォーム30着172,700円、インクジェット6,000円、トナー5個45,925円(パンフレット用、記録用)、ポータブル拡声器1台9,680円、用紙、名札等
②食糧費		70,000	会議用茶菓、事業当日スタッフ用弁当代ほか
③印刷製本費		250,000	講習資料、パンフレット作製ほか
④燃料費			
⑤光熱水費			
⑥通信運搬費		15,000	切手、はがき
⑦広告料			
⑧手数料			
⑨使用料・賃借料			
⑩原材料費		70,000	アクリル板、15枚33,000円、ペンキ、DVD、ポールほか
⑪委託料			
⑫工事請負費		93,000	看板設置費用
⑬報償費		48,000	講師謝礼、2名×2時間×12回×@1,000
⑭保険料		16,000	参加者保険代
⑮旅費		241,700	奈良東大寺研修141,700円、管内研修2回100,000円
小計(①)	0	1,103,700	
⑯新型コロナウイルス感染症防止対策経費		20,000	体温計4,400円、消毒器材3,000円、フェイスガード4,500円ほか
小計(②)	0	20,000	
支出合計(①+②)	0	1,123,700	

◆概算交付の要否(いずれかに○をしてください。)

補助金(3/4)の概算払いを	☒ 希望する ・ ☐ 希望しない
----------------	---

※「希望する」場合は、その理由を具体的にお書きください。

資金に余裕がないため

- 内容欄へは使用用途等を記入してください。
- 記入欄が不足する場合は、欄を追加してください。